

令和3年12月15日 環境生活委員会 開催状況

開催年月日 令和3年12月15日(水)
 質問者 民主・道民連合 高橋 亨 委員
 答弁者 文化局長 成田 正行

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 これまでの議論について 今のやりとりを聞かせていただきました。 この問題については、様々なご意見があるだろうと思います。前知事からの問題でございますけれども、これまでも議会手続き上、どのような形で進んできたのか改めて検証させてください。</p> <p>この問題については、有識者会議との話もいろいろとあるということですが、まずは解体に至った結論の中で、基本設計の予算措置はされていますよね。だから議会上の手続きは終わっていますよね。そして今、実施設計の事ですよね。そうすると、この間、この問題について議論する時間はかなりあったと思っています。今、最終段階の実施設計の問題があるとすれば、もっとこの問題を憂慮する意見の方々の声を議会の中で反映するべきであったと思っています。</p> <p>私も基本設計については賛成の立場でやってきておりますし、今回、実施設計の問題についても、様々な周りから意見がありますけれども、そういう方向性という形であるのだと思います。</p> <p>そうすると、議会手続き上はですね、この間、その方向性で進んできたものと思っています。</p> <p>改めて実施設計について問題があるとすれば、これは会派責任となりますから、それぞれの会派でどう考えるかというのもあり、自民党・道民会議がこの問題について、実施設計について反対と、実施設計されないということになる可能性もないとは限らないということです。</p> <p>実施設計については、これはもう既に手続きが済んでいるんですよね。だとすれば議会のルールでは、一事不再議でございますから、改めてこの問題をジャッジをして、議論するということが自体が、議会ルール上どうなのかという気がしておりますので、そこをですね、私たちこの問題についてはですね、ちゃんと議会のルールに沿った形で進めていかなければいけないと思っておりますので、例えばこれから以降、委員長の方で、この問題をどう取り扱うかについては、その議会ルールに則った取扱いにしなければいけないのではないかとおもいます。もしこれが通るとすれば、いろんなところで一事不再議の問題が出ておると思っておりますので、その部分はそれぞれの議員が理解をして判断すべきだと思っています。</p> <p>(阿知良委員長) 今、高橋委員から、先ほどの議論の中の、ルールに則ってということ、もちろん我々もこの議会のルールに則ってやっていきたいということです。これは解体をどうするかという議論ではなくて、あくまでもそういういった意見もあるということ、議会でもしっかり</p>	<p>(文化局長) 平成30年12月の交流空間構想の策定にあたりましては、有識者の方々のご意見などを伺うとともに、素案につきまして、道民の皆さま方にパブリックコメントを通じて意見を伺うなどしました。そういうことを経まして、議会の方にご報告をさせていただき、多くのご議論をちょうだいいたしまして、策定に至ったというところでございます。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>受け止めなければいけないと思いますし、今後どうするかということについては、これはルールに則ってどう進めていくか考えていかなければならない。</p> <p>(高橋委員)</p> <p>先ほども申し上げましたが、リーダーとして、執行側として、提案したからには責任があるわけですから、きちんと責任を全うしていただきたい。でなければ様々な問題がこれからでできますので、そこはきちりとやっていただきたいと思います。</p>	